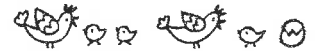




おやこつうしん

岐阜市子ども・若者総合支援センター
“エールぎふ”親子教室（1歳児）
令和3年6月

おやこで一緒にあそぼう！！



子どもは、大人と一緒に遊ぶ中で人と関わる楽しさを知り、相手に期待したり、関心を持ったります。親子教室では、大人と繰り返し遊ぶ中で、自分から“もう一回”のサインや、“もっともっと！”の気持ちを引き出されることを期待しています。この気持ちがコミュニケーション意欲を高め、ことばの土台となっていきます。今回は、親子教室の遊びの楽しみ方を紹介します。

＜おんぶのやり方＞

- ①子どもを背中に乗せます。
- ②大人は子どものお尻を支え、子どもに大人の肩につかまってもらいます。
- ③ゆっくり立ち上がり、最初は前かがみにし、少しずつ上体を起こしていきます。

ポイント

- ☞バリエーションをつけよう
→揺れや速さなど、子どもの様子に合わせて変えてみましょう。変化を感じて楽しめます。
- ☞最初は大人2人でやってみよう
→背中に乗せてあげたり、おんぶの後ろを支えてあげたりしましょう。

お馬のおやこ（おんぶ）

おんぶや抱っこをして大人が歩くと、ユサユサと振動が伝わったり、大人と同じ高さで周りが見えたりして子どもは心地よい気持ちになります。おんぶはしがみつくのに腹筋を使うので、自ら身体を支えたりバランスをとったりする経験になります。



お馬のおやこは
なかよしこよし〜♪

ロケット（たかいたかい）

子どもは大きい変化が大好きです。身体が持ち上がる感覚、景色、目の前に見える大人の笑顔など、様々な感覚を味わうことができます。



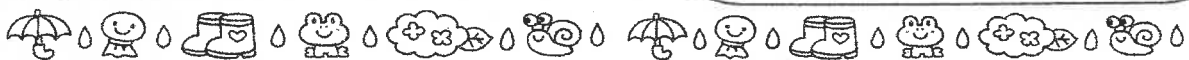
3. 2. 1.
それ〜!

＜たかいたかいのやり方＞

- ①子どもと向き合っていくと、反応する表情を見ることができます。大人もしゃがんで子どもの両脇を持ちます。
- ②「3,2,1」のカウントで立ち上がりながらゆっくり上げましょう。
- ③子どもが周囲を眺め変化に気付ける時間を作りましょう。

ポイント

- ☞好きな高さやスピードを見つけよう
→最初はゆっくりしたり低い高さなどでたかいたかいをしてみましょう。子どもの様子に合わせて、どのくらいが好きなのか試していきましょう。



- ・大人自身が楽しむことが大切です。大人が子どもと同じ高さに視線を合わせ、子どもの表情などを見ながら行くと、子どもの気持ちに気づきやすくなります。
- ・大人をじっと見てくる、子どもから身体を寄せてくるなど、「やって！」のサインを送ってくる姿も出てきます。「もう1回やってほしい」という気持ちを大切に繰り返していきましょう。